

## 第 31 回 神奈川県がん診療連携協議会 議事録

日時： 令和 5 年 7 月 18 日(火) 17:00~18:05  
場所： 神奈川県立がんセンター 管理・研究棟 5 階 講堂  
形式： 集合形式  
出席者： 68 名(出席者名簿 別添)

### 1. 開会

- ・酒井協議会長より、開会の宣言。
- ・古瀬神奈川県立がんセンター総長より、コロナが第 5 類になり、対面会議が復活してきたので、神奈川県のがん医療を皆で一致団結して進めるために、本日も活発なご意見をお願いしたいと挨拶があった。

### 2. 議題

#### (1)神奈川県がん・疾病対策課連絡事項<下山田神奈川県がん・疾病対策課長>

- ・以下 4 点の報告と依頼があった。
- ① 神奈川県がん対策推進計画改定
  - ・現在の計画の期間が令和 6 年 3 月末のため、次期計画の改定作業中である。
  - ・本年 10 月から 11 月頃に、当協議会に参加されている施設の施設長会議を開催して、管理者のご意見を伺いたいので、協力をお願いする。
- ② ピア・サポーターの養成研修
  - ・第 4 期がん対策推進基本計画の中で示されている、拠点病院等とピア・サポーター等との連携体制を構築するために、県ではピア・サポーターの養成研修を実施し、認定する仕組みを検討中。
  - ・養成研修への参加者の推薦を各病院をお願いする。
- ③ がん情報の発信
  - ・本年 5 月に県の HP に、拠点病院の診療実績の一覧表を掲載した。
  - ・県の指定病院については、毎年現況報告を病院ごとに公表しているが、それを一覧表にして公表する予定。
- ④ 防がんMAPの作成
  - ・防がんMAPの神奈川県版を作成する予定。
  - ・ワーキンググループで内容を検討したいので、相談支援員に参加をお願いする。

#### (2)第 16 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

- ・令和 5 年 7 月 7 日に開催された国の連絡協議会の中の各部会報告の概要が、各部会長より、第 4 期がん対策推進基本計画の策定については、酒井協議会長より報告された。

① がん登録部会(令和5年5月16日開催)＜小池院内がん登録部会長＞

- ・主な議事内容は、1.令和5年度の予定、2.全国収集データ2次利用について、3.小児がん認定の職員養成等、4.院内がん登録全国集計における都道府県推薦の扱いについて直接連絡に変更、5.患者体験調査の予定、だった。患者体験調査への参加は、各病院で決めてほしい。

② 情報提供・相談支援部会(令和5年5月26日開催)＜得相談支援部会長＞

- ・「がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリストの活用方針の検討」では、改訂に向けたアンケートの結果が示され、60以上ある項目を統合・削除し、普遍的な内容のみ残すという方向性が出された。
- ・令和4年11月にスタートした「がん診療の実態把握に係わる適切な評価指標の確立に資する研究」の研究班で作成するロジックモデルに、改訂したPDCAチェックリストを反映する予定だが、協議の結果、最終的にはPDCAチェックリストを残す報告で検討する。
- ・「取り組みが進んでいない領域に関する先駆的事例」で、愛媛県、静岡県の事例が紹介された。

③ 緩和ケア部会(令和4年12月9日開催)＜太田緩和ケア部会長＞

- ・開催が昨年だったので、前回の協議会で一度報告しているが、その時は、第4期がん対策推進基本計画に(案)がついていた。その後(案)が取れ、内容が確定したが、緩和ケアに係わる課題として、診断時からの緩和ケアの介入推進、緩和ケアの普及啓発、緩和ケアの質の評価等があげられている。各診療拠点病院の緩和ケアに関わる診断実績を一覧表にしてHP等で公開することはひとつの方法かもしれないが、緩和ケアの質を反映した内容を示すことは難しいと考えている。
- ・静岡がんセンター、亀田総合病院等の整備指針に基づいた取り組み事例が紹介された。

④ 第4期がん対策推進基本計画の策定について＜酒井協議会長＞

- ・第4期がん対策推進基本計画は、本年3月28日に閣議決定された。
- ・基本的柱は、がんの予防と医療と共生。
- ・がん医療の提供体制における取り組むべき課題は、均てん化と集約化、感染症発生・まん延時や災害時等でもがん医療の提供ができる連携体制の整備、がんゲノム医療、科学的な根拠に基づく支持療法、がんリハビリテーションの推進、診断時からの緩和ケア、妊孕性温存に関するエビデンス創出等、が挙げられている。

(3)各部会からの報告

① がん薬物療法部会の報告＜酒井部会長＞

- ・8月に開催予定。外来でのがん薬物療法に関わるアンケートを配布している。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前はピアレビューを実施していたが、コロナ禍で中止していた。アンケートにて、各施設の状況を確認し、部会としてPDCAサイクルをどの

ように回すか検討する。

#### ② 相談支援部会の報告<得部会長>

- ・本年度は部会を3回予定している。3回目はがんセンターで集合会議を開催予定。
- ・1回目は、令和5年7月7日にオンライン開催し、50名が参加した。副部会長2名を選出。部会構成員は32施設の90名近い相談員の実務者である。
- ・本年度も6つのWGで活動予定。それ以外に相模原地域広報WGと川崎地域広報WGが、がん相談支援センターの広報に地域で協力して取り組むために活動をしている。
- ・病院訪問が困難な状況においても、各施設のがん相談支援センターの取り組み状況を共有する目的で、昭和大学藤が丘病院より具体的な取り組み事例が紹介された
- ・新たな整備指針で定められた二つの要件(1.外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者およびその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制を整えること、2.がん相談支援センターの業務内容について相談者からフィードバックを得る体制を整備すること)について、アンケートを実施し、その結果を報告するとともに、現時点での取り組み状況を共有した。
- ・上記1.の要件は、現時点では都道府県拠点病院のみ必須要件だが、5年度には他の国指定の拠点病院においても必須となる見込みなので、今後さらに協議を進める予定。
- ・相模原地域広報WGから相模原地域だけでは解決しない問題も多々あるので、BCPの検討等において、がん薬物療法部会や緩和ケア部会等と連携したいとの要望があった。
- ・(要件1.について確認)

新患後間もない時期に患者さんががん相談支援センターの窓口を訪れることができる体制および、必要な時に患者さんが自ら訪問できる体制を整えることが都道府県拠点病院では必須となっている。

#### ③ 院内がん登録部会の報告<小池部会長>

- ・本年度は2回の部会と2回の研修会を実施する予定。令和5年7月21日に1回目の部会と研修会を実施する予定。

#### ④ 緩和ケア部会の報告<太田部会長>

- ・令和5年5月15日に対面で部会を開催した。
- ・新整備指針の要件として、「難治性疼痛に対する神経ブロック等について、自施設でできない場合には他施設との連携等の対応についてあらかじめ定めておくこと」があるので、各病院がどのようなブロック療法ができるかについて事前アンケートを実施し、県内の神経ブロック療法ができる施設に関する情報共有を行い、実際に多くの経験を有する施設からプレゼンしていただいた。
- ・緩和ケアチームの質の評価という課題でグループディスカッションを行った。
- ・秋以降に2回目の部会を開催予定。

#### ⑤ PDCA サイクル推進部会の報告<酒井部会長>

- ・昨年度、金森前協議会長が立ち上げた部会で構成員は各部会長。

- ・各部会における PDCA サイクルの確保に向けた取り組みの情報共有について、資料 4 によって報告。

#### (4)その他

##### ①神奈川県 HP について

- ・ 神奈川県 HP における拠点病院の紹介ページ等の説明。
- ・ 当協議会のボタンを今より見つけやすいところに移動してもらうこと、協議会だけでなく部会の議事録も掲載してもらうこと、等について県と調整中。

##### ②BCP について

- ・ 各施設の策定状況及び課題の調査をして、県内の現状と課題を当協議会と県民で共有した上で先に進める。
- ・ 先進的な取り組みをしている県や協議会に講演を依頼したい。

##### ③がん患者あるいは家族の参画について

- ・ 新整備指針にサバイバーシップ支援が明確化されたので、当協議会への患者あるいは家族の参画が協議会長より提案されたが、人選を含め難しい問題との意見が多く、ひとまず検討を進めることになった。

### 3. 閉会

- ・ 高橋神奈川県歯科医師会常務理事より、医科歯科連携では手術期の口腔ケアがメインとなると思われるが、医療の充実とシステムの整備、周知等に取り組むうえで、協議会から意見をいただきたいと挨拶があった。
- ・ 笹生神奈川県医師会理事より、HPV ワクチン接種の延長に力を入れる旨、挨拶があった。
- ・ 次回会議は令和 6 年 3 月 11 日(月)の予定。